

のびっこ

令和6年12月発行
恵那市社会教育課 太田
☎0573-26-6853

このおたよりでは、子育て情報や、子育てについて考えるキッカケを掲載していきます。

救急相談・病院案内

7 1 1 9



救急安心センターぎふ

急な病気やけがで「救急車を呼んだ方がいい？」
「今受診できる病院はどこ？」「応急手当の方法
は？」等迷ったら電話！

子どもから大人まで、24時間365日、看護師等の
医療従事者からアドバイスを受けられます。

◎つながらない時は、(058) 265-0009へ

◎緊急性がある時は、ためらわず119番通報
(子どものことは#8000でもOK)

死亡事故や後遺症が残る事故を防ぐために

帰省やお出かけ先は
要注意！

家の中の危険に気づこう



乳幼児の不慮の事故の多くは、家庭内で起こっています（交通事故・自然災害を除く）。

乳幼児期に多い事故は、転落、転倒、誤飲・誤嚥、ぶつかる・当たる、さわる・接触する（火傷）、はさむ、刺す・切る、溺れる等。

重大な事故につながりやすい！

- ・液体を被る火傷（ストーブの上のやかん）
- ・高所からの転落（階段、窓）
- ・水の残った浴槽への転落
- ・タバコ、薬、ボタン電池の誤飲

楽しいはずの玩具にも注意！

- ・水で膨らむボール状玩具の誤飲（腸閉塞の事例も）
- ・カプセル入りスポンジ玩具が膣から体内に入る
- ・ビーズや木の実を鼻や耳に入れる

参考 国民生活センターHP

ちょっとトーク

親の個性、子どもの個性、家庭環境などがみんな違うように、価値観も子育ての【正解】もひとつではありません。だから【間違い】もありません。考え方は人それぞれ！

おうちの中で危険だった、あれは危ないかも…というエピソードはありますか？

ヒヤリハット
何かあった？

近くの人と
話してみましょう！

最後まで聞く 相づちを打つ
否定しない
自分の常識を押し付けない



おやこの運動あそび

普段のあそびが丈夫な身体を育てます。

0歳児

個人差があります。その子のペースに合わせて、自然の流れに従って、育てていきましょう。



1歳児

首や手足もしっかりしてきて、チョコマカと動き回ります。そっと手を添えてあそびの環境づくりをしましょう。



2歳児

他人がやるのを見て、真似して遊べるようになります。親子で、又はお友達と行動することで、どんどん遊びが広がっていきます。



出典：『親子あそびで体力づくり』, (有)きのいい羊達, 2013年3月, 26~28ページ

子連れ防災

できることから、ちょっとずつ!



防災の考え方は、家庭によってそれぞれです。家族構成やペットの有無で備蓄量も異なります。

年末、大掃除に取り組む家庭は、ちょっと意識してみてください。

- ◎ついでに不用品を捨てる
- ◎ついでに備蓄品を見直す
- ◎ついでに家具を固定する
- ◎ついでに賞味期限切れ間近な物を味見する

あれもこれもは大変なので、何か1つ、できそうなものに挑戦してみてくださいませんか?



今月のプチ防災

大掃除のついでに



活動紹介

未満児クラスで人気の給食メニューを作って食べよう (土曜日開催)

こども園で給食を作っている先生と一緒に「鶏とごぼうの甘酢煮」「ほうれん草と人参の納豆和え」を作りました。「やわらかくゆでる」のとらえ方が、先生と保護者では全然違い、「こんなにやわらかくするのは?!」と驚きました。納豆和えの人参は、混ぜるとポロポロ形が崩れるくらいやわらかくしました。



バックナンバー▼



編集後記：我が家の3姉妹、水疱瘡騒動。真ん中から発症して、2週間後に上下に感染。中学生がいれば重傷で、お盆期間だったので#7119に電話しました。受診可能な病院を教えてくださいました。

